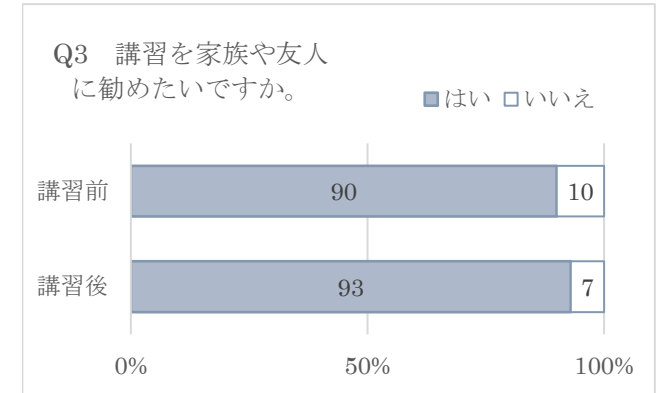
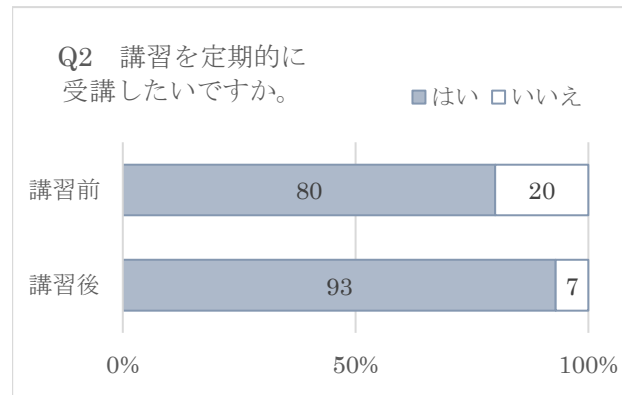
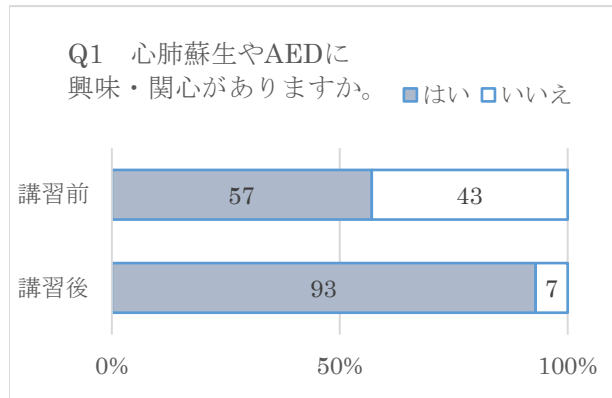


## 令和2年度 第2回 PUSH 講習会アンケート結果

講習会に参加した生徒の受講前後の意識および知識の変化を以下にまとめました。定期試験の多忙な時期に部活動顧問の先生方、担任の先生方、ご指導・ご協力ありがとうございました。

### 【意識の変化】



例年、受講前アンケート Q1 から Q3 に「はい」と答える生徒はいずれも 60%程度です。今回参加した運動部部員は、「自分自身は心肺蘇生や AED に興味ないが、定期的に受講する必要性を感じており、周りの人には受講を勧めたい」と矛盾がみられました。ところが、講習後は「心肺蘇生や AED に興味・関心」が高まり、定期的な受講や周囲に受講を勧め、まわりと協力することの大切さと同程度になりました。胸骨圧迫の手技もよくできている生徒が多く、真剣かつ和やかに取り組む姿が見られました。救命の現場では勇気をもって倒れている人に声をかけて、お互いに協力し合うことを強く感じてくれました。



【知識の変化】 講習を受けることで正しい知識が定着したか、講習の効果を確認しました。講習前後で以下の質問に回答してもらいました。

《質問》

- ① 心臓突然死はもともと心臓に疾患がある人にだけ起こる。
- ② 倒れてから1分経過するごとに救命率は約1%低下する。
- ③ 呼吸をしているかどうかわからない場合は胸骨圧迫をしない。
- ④ AEDは医療関係者以外は講習を受けていないと使用してはいけない。
- ⑤ AEDは心電図を解析した後、全ての人に電気ショックをしてくれる。
- ⑥ AEDによる電気ショックの後、意識が回復したら誤作動を防ぐためにパッドを外す。

《回答と正答率》

- |   |     |     |         |          |
|---|-----|-----|---------|----------|
| ① | いいえ | 正答率 | 受講前 97% | 受講後 100% |
| ② | いいえ | 正答率 | 受講前 57% | 受講後 93%  |
| ③ | いいえ | 正答率 | 受講前 23% | 受講後 90%  |
| ④ | いいえ | 正答率 | 受講前 93% | 受講後 93%  |
| ⑤ | いいえ | 正答率 | 受講前 83% | 受講後 100% |
| ⑥ | いいえ | 正答率 | 受講前 13% | 受講後 83%  |

【生徒の感想】（原文抜粋）

- ・想像していたよりもずっと多い、約8万人の人たちが毎年心臓突然死で亡くなっているとわかり、驚いた。呼吸しているように見えても実はしていないケースもあり、判断は少し難しいと感じた。多くの人の命を救うため、まずは勇気を持って行動することが大切だと思った。
- ・勇気を持つこと。めげずに胸骨圧迫すること。自分の行動に誇りを持つこと。
- ・講習では私たちと同世代の人でも心停止することがあり得ることがわかりました。倒れている人が、もし目の前にいたら1歩踏み出して声をかける勇気で救える命があるので、実践しようと思いました。
- ・行動することの大切さ。自分をPUSH。大切なことは知識だけではない。

《他にもたくさんの素晴らしい感想をもらいました。ありがとう！》